



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和6年2月29日発行

東久留米市立南中学校

〒203-0021 東久留米市学園町 2-1-23



令和6年度に向けて

学校評価アンケートより

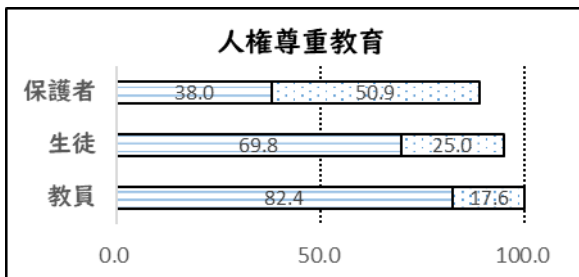
校長 若澤 直樹

令和5年度もあと一月程となりました。学校は4月から3月までの「年度」で活動を進めていますので、1月2月は次年度の計画のための準備期間となります。そのため昨年末には、保護者の皆様に学校反省アンケートにご協力いただきました。南中学校ではこのアンケート結果や生徒アンケート、学校評議委員会でいただいた地域の方からのご意見などから、学校全体の教育計画を検討し令和6年度の新しい教育計画を策定しています。

改めてアンケートにご協力いただいた保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。今回の学校だよりでは、保護者、生徒及び本校職員のアンケートをまとめた集計結果をお伝えいたします。

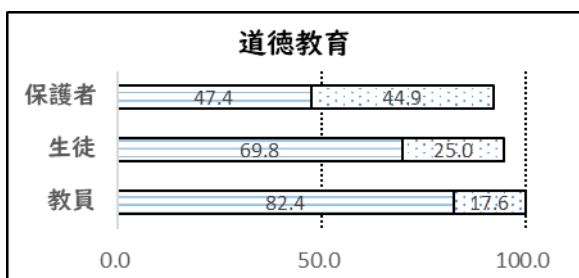
なお、アンケートを集計したグラフは、紙面で見やすいように「そう思う」「ややそう思う」の肯定的評価のみを示しました。左の棒グラフから順に「そう思う」、「ややそう思う」を表しています。【「そう思う」、「ややそう思う」】の2本を足したものが肯定的評価であり、100%に足りない部分が「あまりそう思わない」「そう思わない」の否定的評価と未回答となっています。グラフが右に長いほど肯定的評価が多いことになります。

1.<人権尊重教育>学校は自他を大切に、偏見や差別を許さない、豊かな人権感覚を育てる教育を行っていますか



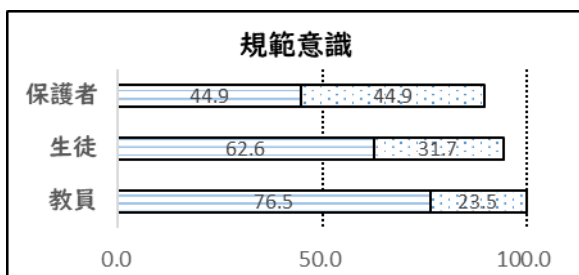
・南中では人権尊重に関する作文や標語の作成などに今年度取り組みました。それぞれ、自分の言葉で人権を尊重することの大切さを表現してみることで考えを深めてくれました。生徒の肯定的回答が94.8%ということは、人権を尊重する教育を目指していることを多くの生徒が理解してくれているようです。

2.<道徳教育>学校は生命の大切さ、善悪の判断や規範意識を育てるなど、道徳性を育む教育をしていますか



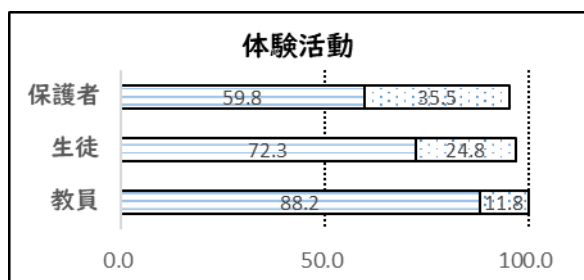
・道徳地区公開講座では多くのご家庭から出産時のエピソードのご協力をいただき、心に残る授業になりました。生徒の肯定的回答は94.8%でした。道徳の授業だけでなく、全教育活動の中で様々な道徳的価値について深く考える場面を設定し、豊かな心の成長を見守っていきます。

3.<規範意識>学校は生徒の服装や通学態度、授業を受ける姿勢、挨拶や返事などの指導に努めていますか



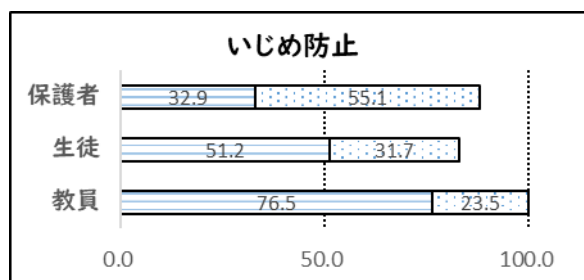
・保護者からの肯定的回答89.8%と、生徒からの肯定的回答94.3%と、ともに高い数字になっています。指導も大切にしていますが、気持ちの良い挨拶、授業中のけじめのある切り替えを生徒一人一人が意識している様子も日々の生活から感じられます。

4.<体験活動>運動会や文化発表会、合唱会、宿泊行事など学校行事の工夫をし、生徒の自主的な力を涵養していますか



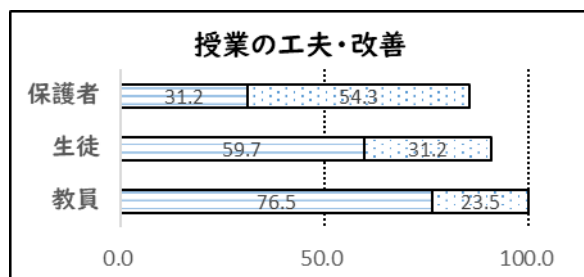
・保護者、生徒、教員すべてで90%以上の肯定的回答でした。準備のための実行委員会や様々な係活動の中で身に付ける力の大切さを生徒自身が実感し、経験を確かな自信とし、達成感と自己肯定感を全員がもてる活動を目指し、ご家庭や地域と協力して充実させていきます。

5.<いじめ防止>学校はいじめ防止に努めていますか



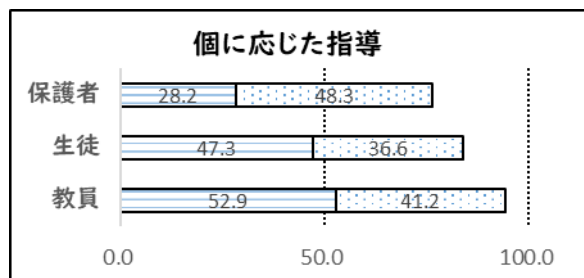
・生徒間のトラブルに関しては、早い段階での確認と対応のために、毎学期のアンケートでの確認や休み時間などの様子を見守ることなど取り組んでいます。しかし、不十分と感じている生徒が17%いるという結果です。人間関係の作り方を学ぶことも大切にしながら、深刻な悩みになる前に、校内の様々な場面での情報を教員間で共有し、さらに丁寧な対応を心がけます。

6.<授業の工夫・改善>教員はタブレットやプロジェクターなどの機器を利用するなど、授業を工夫しながら、分かりやすい授業や楽しい授業を行っていますか



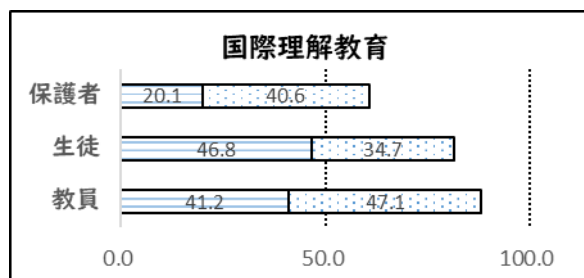
・90%の生徒が工夫を感じてくれているようです。授業の中でタブレットなどを使う場面は増えています。ICT機器を資料の提示などの場面だけでなく、意見の交換など対話的な活動の中でも活用を進め、さらに分かりやすい、楽しい授業を工夫していきます。

7.<個に応じた指導>学校は個別学習やグループ学習など、生徒一人一人の実態に応じた指導形態を工夫していますか



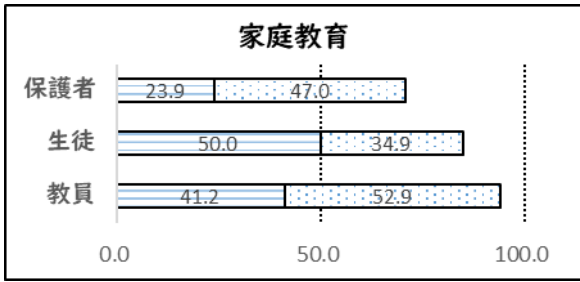
・数学科での習熟度別少人数授業を実施し、他の教科でもグループ学習やその発表など場面に応じた学習形態を取り入れています。しかし、上の6番より肯定回答は少ないようです。一人一人の実態、個に応じた指導形態の工夫をさらに進めることへの期待が大きいことがわかります。放課後学習補充教室の活用を生徒にも、さらに伝えていきます。

8.<国際理解教育>学校は国際社会で活躍できる日本人の育成に努めていますか



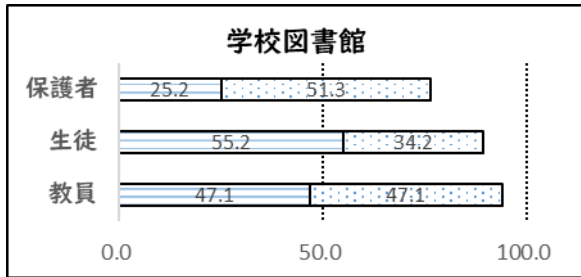
・今年度はノースカロライナ州イプスウィッチ校との全校での交流活動や、2年生での東京グローバルゲートウェイを利用した活動、留学生を招いての授業など、南中では国際理解教育にかなり力を入れてきましたが、ご家庭からの英語の授業や様々な活動への期待の高さがこのグラフから見て取れます。重点目標として取り組んでいきます。

9.<家庭教育>学校は家庭での生活に必要な習慣を身に付けさせる支援をしていますか



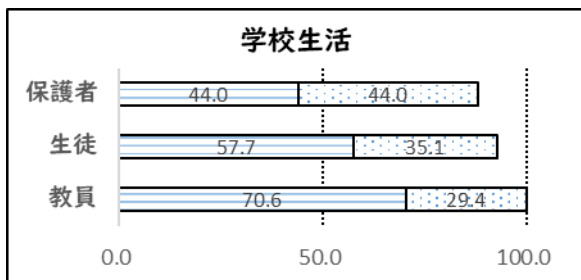
・保護者からの肯定回答の少なさから、生活リズムやスマホ等の使用時間、SNSの使用の仕方など、ご心配をお持ちのご家庭が多いことが推察されます。特にSNSやネットゲームでのトラブルは中学生にも身近なものです。セーフティ教室でのメールの使い方指導や長期休業前の指導など、ご家庭とも協力して取り組んでいきたいと思ひます。

10.<学校図書館>学校は言語活動の充実や読書活動の推進のために図書館を充実させていますか



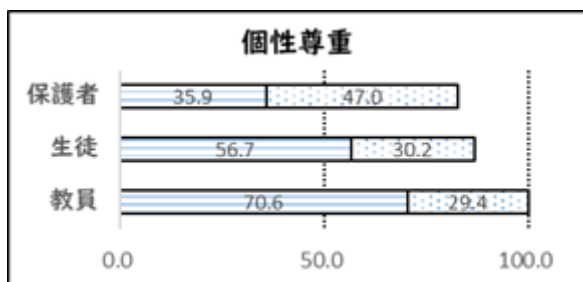
・来年度、今後の学級増への対応のための工事に併せて、図書室の改修を計画しています。生徒が行きたくなる、本を選んでみたくなる、そんな空間の図書室を目指して、施設改修の機会に充実させていきます。

11.<学校生活>生徒同士よく挨拶をし、服装や通学態度もしっかりとしていますか



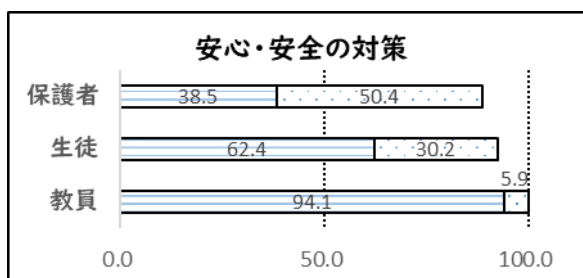
・3年生の入試前の面接練習の中で「生徒同士が気持ちよく挨拶できる学校です」と何人もの生徒が話してくれましたが、自校に誇りを持っている生徒が多いことが分かりました。通学時の様子では、お叱りを受けることもありましたが、年配の方から生徒の校外での親切な行いへの感謝のお手紙をいただいたことも今年度何度かありました。

12.<個性尊重>学校は生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら伸ばそうとしていますか



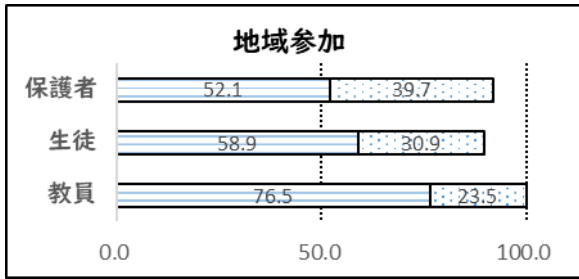
・校舎内で教員が生徒を褒めている場面もよく見るのですが生徒の肯定回答は86.2%でした。これからも本人が達成感を感じているそのときを逃さずに、認め励まし伸ばしていく指導を心がけ、自己肯定感を育てていきます。

13.<安全・安心の対策>学校は生徒の安全確保や安全対策、健康について配慮をしていますか



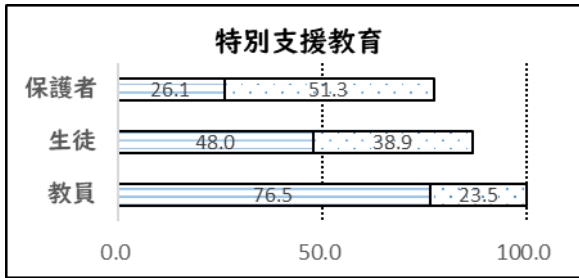
・今年度は避難訓練として、授業中以外の避難の練習や、不審者が校内に入ってきたことを想定しての、田無警察の協力を得ての訓練なども行っています。また、避難所設営のゲームを使った授業も行いました。地域と連携しての防災訓練を来年度はさらに充実させていくことを計画しています。

14.<地域参加>学校(教職員・生徒)は青少協行事をはじめ、地域行事に積極的に参加していますか



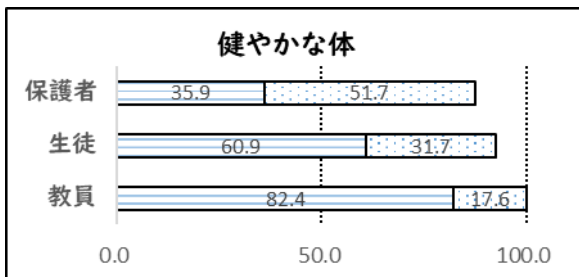
・「みなみちゃんまつり」や「お芋掘り」のための苗植え、芋掘り当日などの青少協行事でのお手伝いボランティアに自主的に参加した生徒が毎回とてもたくさんいることに驚かされました。「もちつきと昔遊び」では100人以上の南中生ボランティアが活躍しました。この積極性は南中の宝だと思います。

15.<特別支援教育>特別支援教育に対して学校は組織的な対応に努めていますか



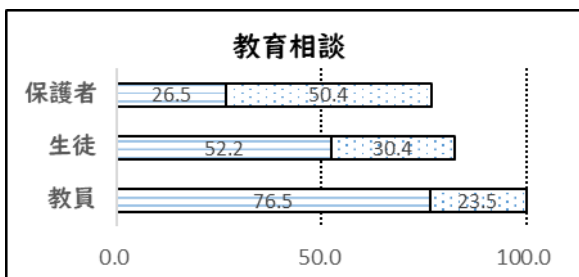
・生徒や保護者の皆様には見えにくい活動だっと思います。が、毎週、校内特別支援委員会を実施し、様々な立場・視点から学校生活の中で元気がなかったり、何か困ったり悩んでいる生徒がいないかを確認し、それぞれの支援の方法や配慮事項を検討しています。

16.<健やかな体>学校は心身における健康の保持増進のための健康・安全に関する学習に努めていますか



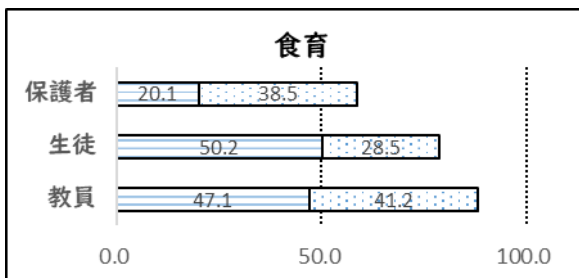
・がんサバイバーの講師によるがん教育の授業や、スポーツファーマシストの資格を持つ本校卒業生の薬剤師による授業を行いました。今年度は、地域の助産師の方を講師に命の授業も行っています。学校外部の方の専門的な知識をベースにした分かりやすく生徒に響く学習を今後も工夫して進めていきます。

17.<教育相談>学校は教育相談活動に力を入れ、組織的な対応に努めていますか



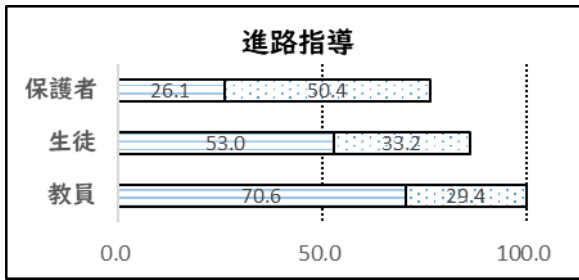
・スクールカウンセラーによる相談は今も一定の利用者がいますが、生徒の肯定回答は82.6%にとどまっています。相談の窓口を分かりやすく周知することと、担任だけでなく、学年教員の中でその生徒にとって話しやすい教員にまず相談しやすいという状況を大切に、全生徒が誰か大人に相談できる環境を目指します。

18.<食育>学校は家庭と連携して食育に努めていますか



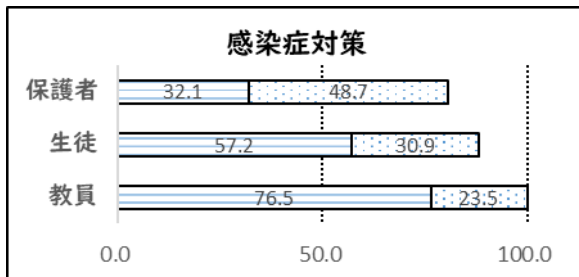
・保護者・生徒・教員全てで低い数字となってしまいました。家庭科の授業では地場の野菜を使っての授業を実施しましたが、家庭との連携は今後の課題したいと思います。地域連携や外部の方の協力を得ることでできることを模索していきます。

19.<進路指導>学校は生き方について考えさせ、社会への参加を意識させて、よりよい進路の実現への支援をしていますか



・今年度は3年生で修学旅行事後学習として、東久留米をこれからどのように発展させていけるかを考える学習を行いました。2年生では地域の事業所のご協力を得て職場体験を復活することができました。自分の将来をイメージすることができるキャリア教育を今後も進めていきます。

20.<感染症対策>学校は感染症拡大防止のために対策をしていますか



・今年度は新型コロナとともにインフルエンザの流行もあり、学級閉鎖や学年閉鎖をおこないましたが、3年生は感染が広がることはあまり見られませんでした。受験を意識して基本的な予防対策を念入りに行っていたことが功を奏したのかもかもしれません。今後もできることとして換気や石けんでの手洗いなど感染予防の基本の指導を大切にしていきます。

学校評価にご協力いただき、誠にありがとうございました。

スキー教室（第1学年） 1月28日～30日 菅平高原

長野県の菅平高原にて、1月28日（日）から2泊3日のスキー教室を行いました。中学校生活初めての宿泊行事に期待を膨らませて迎えた本番は、3日間とも天気に恵まれ絶好のスキー日和となりました。初めてのスキーに緊張した面持ちの生徒も多く見られましたが、最終日には「もっと滑りたい!」という声が聞こえてくるほど、全員が上達することができました。宿舎では、係会での変更点を確実に班員に伝えることができるなど、自分の仕事に責任をもって仲間と協力しながら過ごしていました。また、自由時間には持ち寄ったカードゲームなどで遊ぶ姿も見られ、クラスの仲間との絆を深めていました。

この3日間で大きく成長した1学年の今後がとても楽しみです。

スキー教室担当 間淵ゆきの



いのちの授業（第2学年）～助産師による講演～

2年生を対象に、心と身体の成長や健康について助産師さんを講師にお招きして、「いのちの授業」を実施しました。お母さんの胎内から外に出てくるときには、「自分で決めて、自分で覚悟して、生きるために生まれてくる」という言葉の通り、自ら頭の骨をずらしながら生まれてくるというお話を聞き、生命の誕生、生きる力の意味について、考えることができました。

思春期に、自分の体で起こる変化についても説明していただき、講演会が終わった後にも、助産師さんに質問している生徒も見られました。

3月には、3年生を対象にした「いのちの授業」も実施する予定です。



東京巡り（第2学年）

2月2日 上野・浅草方面

「博文約礼 ～楽しむ笑顔は自立の姿～」をスローガンとして、自分たちで班行動計画を立て、当日は予定外の事態に対処しながら協力して学習することができました。この校外学習では、「日本や東京の伝統文化や歴史やよさを理解すること」が一つの目的でした。東京には様々な魅力ある場所、文化や歴史があります。校外学習に行く前に事前に東京の魅力を調べ、どこに着目して学習し、見学するかを考えることで、自分たちが住んでいる東京の魅力について理解を深めることができました。

学びだけでなく、たくさんの思い出も作る事ができました。この東京巡りは、2年生としては最後の校外での活動となりました。今のクラスのメンバーで学習や行事ができるのもあとわずかです。その中で、学校内では学ぶことができないこと、楽しい出来事、色々な体験を共有できたのは貴重な経験となりました。来年度、この経験を生かして修学旅行などの行事を素晴らしいものにしてほしいです。

校外学習担当 齋藤雄二

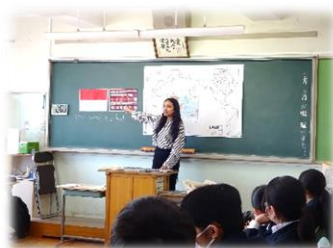


国際理解教育 「留学生が先生！」（第2学年）

2月15日（木）にイタリア、中国、インドネシア出身の留学生が先生となり、自国の文化や伝統、歴史などの講義を聞きました。日本語を流暢に話す留学生に、驚くと同時に「カッコイイ!」と感じる生徒が多く、将来グローバルな社会で生きる生徒の良きお手本となってくれました。また、日本に留学に来た経緯や将来の夢の話の時には、自分の将来を想像し、自分も留学に行ってみたいと感じる時間となりました。講義の後には、茶道部によるお茶のおもてなしが行われました。茶道部はお茶の作法を英語で説明しながら、お手前を披露し、美しい椿の和菓子と共に留学生を歓迎しました。今まで様々な学校で講義を行っている留学生でしたが、茶道部のおもてなしは初めての体験だったようで、とても喜んでいました。

この「留学生が先生!」の取組を通して、英語の授業で学習している内容を身近に感じ、より広い視野で国際理解を行う貴重な経験をすることができました。

国際理解教育担当 藤城麻結



南中生の活躍

男女バドミントン部 令和5年度 Eブロック冬季大会 2部シングルス

決勝トーナメント進出 千葉慈音(2-3) 佐藤悠珠(2-4)

